

カタリナ

学報

第43号



St. Catherine University

聖カタリナ大学 / 聖カタリナ大学短期大学部

2019. 12. 1



ドミニコ会的正義と平和

学校法人聖カタリナ学園理事長 中田 婦美子



I. ドミニコ会の正義と平和の予言的使命

ドミニコ会の正義と平和の概念は、1216年に聖ドミニコが説教者修道会〔ドミニコ会の正式名〕の創立から始まっているとあってよい。正義と平和は人類史の永遠の課題であるが、ドミニコは彼が生きた時代の歴史の人であった。彼がパレンシアの学生であった当時、その地方一帯がひどい飢饉に襲われ、多くの貧しい人々が死に瀕していた。この状況を見たドミニコは、彼にとっても貴重な羊皮紙の学術書を持って食料品を分配する常設センターをこしらえた。このドミニコの行為はやがて教会内に知られることとなった。

ドミニコは当時のカトリック教会を脅かしていた強力な異端と戦うために、キリストの真の教えを擁護する説教者の必要性を感じていた。ダンテはその『神曲』の中でドミニコについて見事に描写している。「やがて、キリスト教信仰の愛すべき寵児が生まれた。彼は神聖な闘士で、キリストがご自分の庭で、その協力者として選ばれた働き手であるといわれている。。。ただ神のみ言葉によって世の誤謬と戦うために、高山の奔流が岸壁の絶頂から落下するごとく、ドグマと強い意志で身を固め、使徒的聖戦に邁進していった。その猛烈な勢いは途中せき止める異端の中に身を投じ、遠く、広く流れ出て、分かれて小川となり、教会の庭を潤していった。』〔天国編XII〕

中世期において、正義と平和のためにその生涯をささげた聖ドミニコの後継者として教会史に不朽の名をとどめた女性がシエナの聖カタリナである。1347年にカタリナが生まれる40年以上前から、歴代の教皇は風光明媚なフランスのアヴィニオンに居を移し、その宮殿はフランス王国の権力と結びつ

き華麗な社交の場になっていた。一方、教皇不在のローマは、諸侯の覇権争いと教会内部の腐敗と市民生活を襲った貧困とペストの蔓延により疲弊していたのである。

聖カタリナは、特別に神の恩寵に満たされた一人の女性として、国家の正義と平和のために奔走することになる。カタリナは当時教皇に対して反乱を起こしていたフィレンツェ市民の暴動の調停者として、教皇グレゴリオ11世にローマ帰還を説得するため、彼女の聴罪司祭であったドミニコ会士カプアのライムンドと共にアヴィニオンに赴いた。カタリナは29歳であった。その会見の席上、ラテン語を話す教皇と、トスカナ語のカタリナの通訳をしていたライムンドの伝記によれば、「教皇は平和をカタリナの手にゆだねたい。」(R406)といわれた。多くの困難の末、1377年1月17日、グレゴリオ11世をキリストの代理者としてローマに迎えたカタリナは、教会史に残る偉業を成し遂げたのである。聖ドミニコと聖カタリナは共に正義と平和への予言的使命を果たすことによって時のしるしを識別しえた聖人であったといえる。

II. ドミニコ会的正義と平和の後継者たち

聖ドミニコは観想と使徒的活動の一致による新しいタイプの修道会の設立が当時の教会に不可欠なものであると判断した。それは当時の隠遁的修道生活の概念を根底から覆すものであったが、誤謬と異端から教会を救うために正統な神学養成をうけた信仰の擁護者が必要であると考えた創立者は、その兄弟たちを当時ヨーロッパ中心の学問の府といわれるパリ、ローマ、スペイン、イギリスの大学都市に派遣したのである。当時の中世神学が反古代ギリシャ哲学を主流をなしていた大学の教壇で、ドミニ

コ会の偉大な聖アルベルト及び聖トマスは、あえてアリストテレスの哲学・倫理を神学擁護の武器として神学との統合を試み、「理性は信仰を求める」と反論し神学の正統性を証明したのである。更に聖アルベルトの弟子である聖トマスが残した膨大な「神学大全」はその後のカトリック教会の歴史を脅かすあらゆる誤謬と迫害に対して、ゆるぎない神学の基礎を打ち立てたのである。その後、ドミニコ会宣教師たちが時代を越えて、歴史の中で正義と平和の証しとなったいくつかの例を述べたいと思う。

- 1) 16世紀のバルトロメ・デ・ラス・カサスは、当時の新大陸の発見から、スペインが国家をあげて進めていた植民地政策により中南米における先住民(インディオ)に対する残虐行為を告発し、同地に於けるスペイン支配の不当性を訴え続けた。彼については種々の評価があるが、彼は南米の正義と平和のために働いた「インディオの保護者」といわれている。
- 2) 17世紀の日本はキリスト教伝来から始まり、やがてキリスト教禁教令が布告され、長崎、西坂、江戸において約300年にわたる苛酷なキリシタン迫害時代に突入した。当時のスペイン・ドミニコ会宣教師たちは、殉教を覚悟でフィリピンを経由し日本の信者を守るためにひそかに入国した。その殉教記録によれば、21名のドミニコ会司祭を含む243名のキリスト信者は残酷な刑によって殉教した。その中の一人のスペイン司祭はサント・トマス大学の学長であった。これは日本史における信仰による正義と平和の貴重な記録である。
- 3) 19世紀のフランスのドミニコ会士ラコルデルは、当時のヨーロッパのカトリック教会の現状に、警鐘を鳴らしていた自由主義的進歩派の一人であった。「わたしは聖ドミニコの規則よりもっと新しいもの、この時代とその要求に適應できるもっと良いものを見出すことができない。その歴史以外には古いものは何もない。」と断言している。ドミニコ会の現代性と柔軟性の意味をその正義と平和において理解した先駆者であったといえる。
- 4) 20世紀のドミニコ会士アンリ・ピールは、第二次世界大戦後の難民救済の貢献により、1958年にノーベル平和賞を受けた。その後1960年には世界的兄弟愛の対話推進の場として、正義と平和をかかげる「平和大学」の設立に尽力した。難民は神が愛された無限の価値を持つ存在であり、人類はいかなる差別なく深い一致によって結ばれているべきであると主張した。

Ⅲ. ドミニコ会的正義と平和の将来的展望

21世紀に生きるドミニコ会は、現代と来るべき時代の正義と平和の問題をどのように考えるのか。現代世界の貧困の多くの原因は富める国々の際限のない搾取と所有欲により、その結果おびただしい社会的格差、不均衡と環境破壊と国家間の利害関係による不和と闘争を生み出している。現代社会を支配している消費主義的奢侈と放縦は現在のところと

どまるところを知らない。教皇フランシスコは地球という星の中に住むすべての人が一つの家族として、神から与えられた資源を共有しなければならないと発信している。

2017年のノーベル平和賞は、核兵器禁止条約成立に貢献した「核兵器廃絶国際キャンペーン」(ICAN)に与えられた。核兵器が使われる危険性はかつてなく高まっている今日、核保有国や核の傘で守られている日本もその条約の批准に参加すべきであると思う。チェルノブイリと日本の福島原発事故から、ドイツが将来の安全なエネルギー政策として、倫理的観点を重要視し、「脱原発」へと大きく舵を切った国策に、日本も学ぶべきではないか。また、教皇フランシスコは国際飢餓対策や難民問題について、「壁ではなく、橋」を作るように人類共同体としてのパートナーシップを強調している。人類が自ら生み出している温暖化の弊害について考え、地球全体の生態系の保護について責任を取ることは明らかに正義の平和の問題に直結している。

このたび男子ドミニコ会は今年の総会議において、会の教授総長として初めてアジアからフィリピン出身のジェラルド・ティモナー師が選出された。1611年にフィリピン・マニラに創設されたサント・トマス大学は、アジアで最古のドミニコ会カトリック大学である。新しい総長はそのメッセージの中で、ドミニコ会としての正義と平和における連帯は、相互の人格的尊厳を前提とすると述べている。それは現代ドミニコ会に求められている正義と平和の課題であると思う。

聖ドミニコの船は800年の歴史の波濤を越えて、それぞれの時代の困難に直面しながら、刷新と適應を繰り返し目標を見失わずに地平に向かって進んできた。かつて、1234年7月、教皇グレゴリオ9世が主催したドミニコの列聖式のおり、その勅書の中で「ドミニコは、正義の小道と聖人たちの道を誠実に辿った勇敢な闘士である。」といわれた。このことは現代のわれわれに残された遺言でもあろうと思う。ドミニコ会の真理と愛の精神を受け継ぐ本学が、現代世界が抱えている多くの矛盾と不正に対して、神の創造の神秘の前に常に祈っていたシエナの聖カタリナにならない、正義と平和を希求する学問の府となつてほしいと願っている。それは現代に責任をもち、未来を志向する若者のためにも、わたしたちに課せられた使命ではないかと思う。



●2019年度カタリナキャンプ(保育学科)を実施

4月13日(土)、聖カタリナ大学短期大学部保育学科の新入生歓迎イベント『カタリナキャンプ』を実施しました。

カタリナキャンプは、新入生が保育学科での学生生活や学習内容について理解を深め、1・2年生や教員との親睦を深めることを目的に、毎年開催されている伝統行事です。

この日のために2年生は各クラスで企画、準備、練習を重ねてきました。当日は、2年生のクラス発表や1・2年生合同のレクリエーションなどが行われ、有意義な1日を過ごすことができました。1・2年生ともに、元気に新学期のスタートを切ることができました。



●本学学生が重信川総合水防演習に参加

5月12日(日)、国土交通省四国地方整備局、愛媛県、松山市などが主催する「2019年度重信川総合水防演習」に本学のボランティアセンター、看護学科、硬式野球部の学生が参加しました。演習訓練は、災害時の食糧配給訓練や段ボールベッドの組み立て方を行いました。また、看護学科の学生は救急手当の訓練、硬式野球部は土囊づくりの訓練とそれぞれの特徴を生かした訓練も行いました。

学生らは、自助の精神を培う貴重な体験をすることができました。



●本学学生が第69回西日本学生体操選手権大会(新体操の部)で個人総合3位

5月28日(火)～30日(木)、第69回西日本学生体操選手権大会(新体操の部)が愛知県豊田市において開催され、本学、芳之内乃亜さん(健康スポーツ学科2年)が女子個人競技に出場し個人総合3位の好成績を収めました。また、種目別では、フープ2位、ボール2位、クラブ2位、リボンは惜しくも15位となりましたが、全種目で大いに健闘いたしました。

8月24日(土)～27日(火)、北九州市立総合体育館で開催された「第71回全日本学生新体操選手権大会」へ出場しました。



●聖カタリナ大学短期大学部「自己点検・評価報告書(平成28～30年度)」を公表

6月3日(月)、聖カタリナ大学短期大学部大学評価委員会は、「自己点検・評価報告書(平成28～30年度)」を公表しました。

自己点検・評価とは大学が、自らの目的・目標に照らして教育研究活動等の状況について点検し、優れている点や改善すべき点などを評価し、その結果を公表するとともに、その結果を踏まえて改善向上を行っていくという質保証の仕組みです。

本学では今後とも教育の質保証の向上を目指し、自己点検・評価活動を推進していきます。

●保育学科学生が「かざはや楽市(北条地区まちづくり協議会主催)」に協力

6月9日(日)、JR伊予北条駅前の道路を会場に「かざはや楽市」が開催されました。

道沿いの飲食関係の店舗からの出展や、手作りアクセサリやネイルなどの出展もある中、保育学科でレクリエーション・インストラクターの資格取得を目指す2年生が「キャラクターメダル釣り」や「ぬり絵」「パズル」の遊びコーナーを準備しました。

たくさん子どもたちが楽しく遊んでくれ、保護者の方々にも大変喜んで頂きました。

今後も、大学での学びを、地域の中で生かしていきたいと思っております。

●「カタリナフェスティバル in エミフルMASAKI」の開催

7月6日(土)、エミフルMASAKIエミモール1階・グリーンコートで聖カタリナ学園による「カタリナフェスティバル in エミフルMASAKI」を開催しました。

聖カタリナ学園の聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部・聖カタリナ学園高等学校・聖カタリナ大学短期大学部附属幼稚園の学生・生徒・園児によるステージ発表、大学・高校の学科別体験コーナーや学校紹介を実施しました。

また、愛媛県赤十字血液センターの献血も行われ多数の方々にご協力いただきました。

ご来場いただき誠にありがとうございました。



●サッカー部第70回四国地区大学総合体育大会優勝

7月7日(日)、本学サッカー部が決勝で高松大学に勝利し、四国地区大学総合体育大会で優勝しました。

【試合結果】

決勝 高松大学 1 - 1 P K (5 - 4)

準決勝 高知大学 2 - 1



●陸上同好会が第74回愛媛陸上競技選手権大会に出場

7月13日(土)・14日(日)、愛媛県総合運動公園陸上競技場で開催された第74回愛媛陸上競技選手権大会に陸上同好会の選手5名が出場しました。

女子5000m競歩で西岡瑞葵さん(健康スポーツ学科1年)が2位、宇都宮あかりさん(健康スポーツ学科1年)が4位、男子三段跳びで石山大輝さん(健康スポーツ学科1年)が6位とそれぞれ入賞を果たしました。

4月より本格的に活動を始めましたが、これから様々な大会に出場してゆきます。

応援のほど、どうぞよろしくお願いたします。



●令和元年度保育学科公開講座リカレントセミナーを開催

8月20日(火)、聖カタリナ大学短期大学部保育学科は令和元年度公開講座「第20回リカレントセミナー」を開催しました。

当日は、県内の幼稚園・保育所・施設で勤務されている方や、本学を卒業して保育所等に就職した卒業生など延べ受講者数131名の先生方に参加していただきました。

午前には「読み聞かせだけではもったいない!絵本の活用方法」「かつお節削り体験で子どもに伝えたい『だしのうま味』」の2講座を開講し、午後からも2つの講座「日常保育に取り入れたい『からだ遊び』」「ピアノ公開レッスンとミニコンサート」を行い、社会で活躍されている先生方に職業上の新たな知識・技術を習得していただきました。

聖カタリナ大学短期大学部保育学科では、今後も社会で活躍されている方の学びたい気持ちを応援します。



●保健講話(保育学科学生)を実施

9月20日(金)、保育学科学生を対象に保健講話を実施しました。

講師は高知在住の(公財)人権教育啓発推進センター 特別研究員 千斗枝グローバル教育研究所 こうちねっと見守り会議会長 山中千枝子氏 テーマは『もしかしたら、うちの子も? - ネット時代に考えたいこと』です。

便利なケータイ、スマホですが、使い方を考えないと、心身の健康を損ないかねない危険性と隣り合わせであることを事例を踏まえてご講話くださいました。

特に幼い子どもと関わる大人たち自身がそのことを知り、生活することの大切さを学びました。



●2019年度聖カタリナ大学人間文化研究所フォーラム

聖カタリナ大学人間文化研究所では、フォーラム(全5回)を北条キャンパスで開催しております。

一般の方々も自由に参加できるフォーラムですので、お気軽にご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。事前申込み不要。参加無料。

第1回：令和元年10月30日(水) 16:30~18:30 第2回：令和元年11月27日(水) 16:30~18:30
第3回：令和元年12月20日(金) 13:00~15:00 第4回：令和2年1月29日(水) 16:30~18:30
第5回：令和2年2月5日(水) 16:30~18:30

●2019年度聖カタリナ大学キリスト教研究所フォーラム

聖カタリナ大学キリスト教研究所では、フォーラム(全5回)を北条キャンパスで開催しております。

一般の方々も自由に参加できるフォーラムですので、お気軽にご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。事前申込み不要。参加無料。

第1回：令和元年10月23日(水) 16:30~18:00 第2回：令和元年11月20日(水) 16:30~18:00
第3回：令和元年12月18日(水) 16:30~18:00 第4回：令和2年1月22日(水) 16:30~18:00
第5回：令和2年2月19日(水) 16:30~18:00

●北条キャンパスの動画を公開

ドローンによる聖カタリナ大学北条キャンパスの空撮映像やキャンパス内の様子をYouTubeでご覧いただけます。

映像では、北条キャンパス上空、聖堂、聖カタリナホール、大講義室、サルーテ等、豊かな自然に囲まれた美しいキャンパスの魅力をお伝えしています。

是非ご視聴ください。



●聖カタリナ大学短期大学部保育学科公式ブログを開設

「聖カタリナ大学短期大学部保育学科公式ブログ」を新たに開設しました。

授業紹介、キャンパスライフ、在学生の声、学外活動、卒業生の今、オープンキャンパス等の情報を随時、情報発信しています。

保育学科公式ブログ：<http://blog.catherine.ac.jp/hoiku/>



●公式Instagramを開設

聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部は、公式Instagram(インスタグラム)のアカウントを開設しました。

キャンパスやイベントでの様子など、本学の雰囲気をお伝えできるようなコンテンツを発信しています。



●高等教育の修学支援新制度(高等教育無償化)について

聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部は、2020年4月から開始される修学支援制度の対象となる教育機関として認定されました。

この制度は、経済的な理由で学び続けることをあきらめないよう、授業料及び入学金減免と、給付型奨学金支給を併せて支援する制度です。

学費支弁者の所得として同制度の支援対象になるかの目安につきましては、日本学生支援機構(JASSO)のホームページ内「進学資金シミュレーター」を用いて大まかに確認することが可能です。

●サッカー部豊田選手がU-19全日本大学選抜候補に選出

聖カタリナ大学サッカー部1年の豊田湧選手(宇和島東)がU-19全日本大学選抜候補に選出されました。



◆◇ 令和元年度前期行事 (H31.4.1 ~ R1.9.30) ◇◆

月	日	曜	区	行 事
4	1	月		評議員会、新任教職員研修
			大	教授会、選考教授会
			短	教授会、人事教授会
	2	火		学生生活委員会、障がい学生支援チーム会議
			大	人間社会学科会議
	3	水		入学式
	4	木		オリエンテーション(～4/5)
	8	月		会計監査(～4/10)
	10	水	大	看護学科実習委員会、健康スポーツ学科会議、研究倫理委員会看護学科分会、学生生活委員会
			短	保育学科会議
	13	土	短	カタリナキャンブ
	16	火		入試・募集委員会、財務委員会、図書館委員会
	17	水	大	社会福祉学科会議、看護学科会議、社会福祉実習委員会、教務委員会
			短	大学評価委員会
	18	木		地域連携推進室会議、課長会議
	20	土	大	カタリナキャンブ
	24	水		キリスト教研究所所員会、FD委員会、SD委員会、ボランティアセンター運営委員会
	26	金		理事会、パイプオルガン演奏会実行委員会
	29	月		学園創立記念日
	5	7	火	
8		水	大	人事委員会、学生生活委員会、人間社会学科会議
			短	教授会、保育学科会議
9		木		財務委員会
10		金		まつやまシニアカレッジ
14		火	大	研究倫理看護学科分会
15		水		障がい学生支援チーム会議
			大	教授会、看護学科会議、健康スポーツ学科会議、母をたたえる日(市駅キャンパス)
20		月		SD委員会
22		水		母をたたえる日(北条キャンパス)、大学説明会(市駅キャンパス)、学生生活委員会
23		木		大学説明会(八幡浜会場)
24		金		大学説明会(高松会場)
25		土		理事会・評議員会
27		月		大学説明会(新居浜会場)
			短	幼稚園教育実習[保2](～6/7)
28		火		大学説明会(宇和島会場)
29		水		就職委員会、募集広報WT会議
	大		選考教授会、人事委員会、教務委員会	

月	日	曜	区	行 事
5	30	木		SD委員会
	31	金		大学説明会(高知会場)
6	4	火		広報委員会
	5	水	大	社会福祉実習委員会、社会福祉学科会議、健康スポーツ学科会議、看護学科運営会議
			短	保育学科会議
	6	木		大学訪問(北条高校)
	7	金		まつやまシニアカレッジ
	8	土		後援会役員会
	11	火		SD委員会
			大	研究倫理看護学科分会
	12	水		合同教授会
	12	大		大学評価委員会、学生生活委員会、看護学科・公衆衛生実習連絡会
大			人事委員会	
13	木	大	人事委員会	
15	土		学内福祉就職相談会	
18	火		地域連携推進室会議、パイプオルガン演奏会実行委員会	
		短	人事委員会	
19	水		国際交流委員会	
		大	看護学科会議	
23	日		オープンキャンパス①	
25	火		財務委員会	
26	水		学内FD研修会、ボランティアセンター運営委員会	
28	金		大学訪問(今治精華高校・京都聖カタリナ高校)	
29	土		評議員会・理事会	
7	3	水		人間文化研究所所員会議
			大	社会福祉学科会議、臨地実習連絡会議
	5	金		まつやまシニアカレッジ
	6	土		カタリナフェスティバル in エミフルMASAKI
	7	日	大	看護学科教育懇談会
	8	月		ボランティアウィーク(～7/13)
			大	社会福祉実習連絡協議会
	短	保育実習Ⅱ(～7/20)・Ⅲ[保2](～7/22)		
	9	火	大	研究倫理看護学科分会
	10	水		合同教授会
大			選考教授会、健康スポーツ学科会議、看護学科運営会議	
短			保育学科会議	
13	土		寄付講座①「風早の塾」、ボランティアウィーク一般公開	
16	火		財務状況説明会	

月	日	曜	区	行 事
7	17	水		S D委員会
			大	看護学科会議、教務委員会
	23	火		パイプオルガン演奏会実行委員会、図書館委員会
	24	水		教学マネジメント委員会
			大	教職課程委員会
			短	保育学科会議
	26	金		理事会
	28	日		オープンキャンパス②
	29	月	短	人事教授会
	31	水		I R推進委員会
大			教務委員会、人事委員会	
短			人事委員会	
8	1	木		将来計画委員会、衛生委員会
			大	研究倫理委員会
	2	金		S D委員会、財務委員会
				まつやまシニアカレッジ
	3	土		夏季休業(～9/20)
	5	月	大	社会福祉援助技術現場実習[社3、介4、編4](～9/5)、介護福祉実習[介2](～8/30)、精神保健福祉現場実習[社4](～8/26)
	7	水		合同教授会
			大	選考教授会、看護学科運営会議、健康スポーツ学科会議
	8	木		聖ドミニコの日
大			介護福祉実習[介3](～9/4)	
13	火	大	研究倫理看護学科分会	
17	土		オープンキャンパス③(市駅キャンパス)	
18	日		オープンキャンパス③(北条キャンパス・市駅キャンパス)	

月	日	曜	区	行 事	
8	19	月		S D研修会	
	20	火	短	保育学科公開講座リカレントセミナー	
	28	水	大	教務委員会	
9	2	月	大	基礎看護学実習Ⅰ[看1](～9/6)	
			4	水	学生生活委員会、障がい学生支援チーム会議
			大	看護学科運営会議	
	2	短		保育学科会議	
	9	月	大	基礎看護学実習Ⅰ[看1](～9/13)	
	10	火	大	研究倫理看護学科分会	
	17	火		奨学制度運営委員会、学生生活委員会	
			大	教務委員会	
	18	水	大	教授会、人事委員会、社会福祉実習委員会	
短			愛媛県内幼稚園教育実習協議会		
20	金		後期履修ガイダンス		
		短	保健講話		
21	土		オープンキャンパス④		
24	火	大	前学期卒業証書授与式		
25	水	大	ボランティアセンター運営委員会、入試制度WT会議		
		短	教授会		
26	木	大	研究倫理委員会		
		短	人事委員会		
27	金		理事会		
			まつやまシニアカレッジ		
28	土	大	A O入試面接、編入学試験		
		短	A O入試面接		
30	月	大	入試・募集委員会		

◆◆ 人 事 ◆◆

《令和元年4月18日付け》

【新規採用】

看護学科事務部局

実習助手(非) 金井 恵巳

《令和元年6月1日付け》

【新規採用】

看護学科事務部局

事務職員(非) 兼頭 理恵子

《令和元年6月17日付け》

【新規採用】

看護学科事務部局

実習助手(非) 名村 千恵子

《令和元年7月1日付け》

【新規採用】

総務課

事務職員 松本 央子

《令和元年9月1日付け》

【新規採用】

人間健康福祉学部

教授 三木 佳子

学生支援課

事務職員(非) 大矢 史

《令和元年9月30日付け》

【退職】

人間健康福祉学部

助教 石崎 孝太郎

[松山市駅キャンパス]

看護学科事務部局

附属図書館分館(非) 山本 浩史

◆◆ 令和元年度教授会議題（前期） ◆◆

【聖カタリナ大学教授会議題】

H31. 4. 1 第1回

1. 2020年度聖カタリナ大学入学試験概要（案）について
2. 退学について
3. 除籍について
4. 科目等履修生の受入について
5. 聴講生の受入について

R 1. 5. 15 第2回

1. 休学について
2. 退学について

R 1. 6. 12 第3回

1. 退学について
2. 研究倫理委員会看護学科分会に関する規程の一部改正について

R 1. 7. 10 第4回

1. 科目等履修生の受入について

R 1. 8. 7 第5回

1. 復学について
2. 科目等履修生の受入について
3. 特別聴講学生の受入について

R 1. 9. 18 第6回

1. 前学期末卒業の認定について
2. 退学について
3. 学長候補者推薦会議構成員の選出について

【聖カタリナ大学短期大学部教授会議題】

H31. 4. 1 第1回

1. 2020年度聖カタリナ大学短期大学部入学試験概要(案)について
2. 退学について
3. 除籍について
4. 科目等履修生の受入について

R 1. 5. 8 第2回

1. 退学について

R 1. 6. 12 第3回

※報告・連絡事項のみ

R 1. 7. 10 第4回

1. 科目等履修生の受入について

R 1. 8. 7 第5回

※報告・連絡事項のみ

R 1. 9. 25 第6回

1. 退学について
2. 除籍について
3. 学長候補者推薦会議構成員の選出について

◆◆ 令和元年度 クラブ等 活動状況 ◆◆

R1.10.1 現在

体育局(部)

団体名	期 間	大会名・イベント名等	開催場所	参加人数	備 考
弓道部	7/5～7	第70回 四国地区大学総合体育大会	愛媛県総合運動公園弓道場	13	男子：(団体:出場、個人:2次予選進出) 女子：(団体:4位、個人:決勝射詰進出)
剣道部	5/25・26	第64回 西日本学生剣道大会 第34回 西日本女子学生剣道大会	久留米アリーナ	10	男子：出場 女子：出場
	6/9	第66回 中四国学生剣道選手権大会 第51回 中四国女子学生剣道選手権大会	松山大学	9	男子：4回戦進出 女子：3回戦進出
	6/23	第70回 四国地区大学総合体育大会	松山大学	13	男子：出場 女子：出場
	7/21	第35回 香川近県学生剣道定期大会	香川大学	5	男子：出場
	9/8	第66回 中四国学生剣道優勝大会 第46回 中四国女子学生剣道優勝大会	岡山市総合文化体育館	13	男子：出場 女子：出場
硬式テニス部	7/5～7	第70回 四国地区大学総合体育大会	松山中央公園テニスコート	10	男子：出場 女子：出場
硬式野球部	6/21～23	第70回 四国地区大学総合体育大会	松山中央公園野球場	15	3位
	8/27～9/18	四国地区大学野球連盟2019フレッシュリーグ	愛媛県内	—	出場
サッカー部	通年	2019年度 愛媛県サッカーリーグ(1部)	愛媛県内	—	1部リーグ：5勝0敗 (令和元年9月29日現在)
	通年	2019 四国大学サッカーリーグ(2部)	四国地方内	—	2部リーグ：3勝0敗 (令和元年5月11日現在)
	6/15・16・22	令和元年度 四国大学サッカートーナメント 兼 第43回 総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント四国地区予選会	土佐西南大規模公園人工芝 春野総合運動公園球技場	—	準決勝進出

団体名	期 間	大会名・イベント名等	開催場所	参加人数	備 考
サッカー部	7/6・7	第70回 四国地区大学総合体育大会	松山市野外活動センター 北条スポーツセンター	30	優勝
卓球部	5/18・19	第53回 春季リーグ四国学生卓球選手権大会	坂出市立体育館	4	男子:(団体:2部4位、個人:2回戦進出)
	6/21・22	第70回 四国地区大学総合体育大会	松山市総合コミュニティセンター	5	男子:(団体:出場、個人:2回戦進出)
男子 バスケットボール部	5/11・12	2019年度 全四国大学バスケットボール新人大大会	ツインバルながお	6	出場
	6/29・30	第70回 四国地区大学総合体育大会	松山市総合コミュニティセンター	8	出場
ダンス部	8/10	松山まつり「野球拳おどり(団体連の部)」	松山市内	28	準優勝
なぎなた部	8/11	第58回 全日本学生なぎなた選手権大会	埼玉県入間市市民体育館	1	試合競技:3回戦進出
軟式野球部	春季	2019年度 四国地区大学軟式野球連盟 春季リーグ戦	香川県 愛媛県	—	決勝リーグ進出
	6/21~23	第70回 四国地区大学総合体育大会	北条スポーツセンター	16	3位
	秋季	2019年度 四国地区大学軟式野球連盟 秋季リーグ戦	香川県 徳島県	—	決勝リーグ進出 (令和元年9月28日現在)
バドミントン部	7/5~7	第70回 四国地区大学総合体育大会	松山市総合コミュニティセンター 愛媛大学	3	男子:(シングルス:2回戦進出) 女子:(シングルス:ベスト8、ダブルス:2回戦進出)

体育局(同好会)

団体名	期 間	大会名・イベント名等	開催場所	参加人数	備 考
CFC	7/6・7	第70回 四国地区大学総合体育大会	北条スポーツセンター	18	2回戦進出
新体操同好会	4/27・28	第61回 関西学生体操選手権大会新体操の部	花園大学	1	個人総合2位 ボール:2位、クラブ:2位、リボン:3位
	5/28~30	第69回 西日本学生体操選手権大会	スカイホール豊田	1	個人総合3位(全日本学生体操選手権大会出場権獲得) フープ:2位、ボール:2位、クラブ:2位、リボン:15位
	8/24~27	第71回 全日本学生新体操選手権大会	北九州市立総合体育館	1	個人総合31位 フープ:38位、ボール:39位、クラブ:29位、リボン:29位
水泳同好会	6/22・23	第70回 四国地区大学総合体育大会	松山大学	2	男子:(50m自由形 8位、100mバタフライ 6位) 女子:(200m自由形 4位、400m自由形 2位)
	6/29・30	第50回 中国四国学生選手権水泳競技大会 兼 第49回 中国四国国立大学選手権水泳競技大会	小島地区公園水泳場児島マ リンプール	1	男子:(50m自由形 30位、100m バタフライ 15位)
	7/27・28	2019年度 愛媛県選手権水泳競技大会競泳競技 兼 第74回 国民体育大会水泳競技(競泳)愛媛県代表選手選考会	アクアパレットまつやま	1	男子:(50mバタフライ 9位、 100mバタフライ 9位)
ソフトテニス同好会	6/29	第70回 四国地区大学総合体育大会	松山中央公園テニスコート	4	男子:(個人戦:出場)
陸上競技同好会	6/9	新居浜トラック記録会・新居浜記録会	新居浜市東雲陸上競技場	6	男子:(400m、1500m、110mH出場) 女子:(100m、200m、400m、800m、1500m、110mH出場)
	7/13・14	第74回 愛媛陸上競技選手権大会 兼 国体選考対象大会	愛媛県総合運動公園陸上競 技場	5	男子:(400m、400mH出場、三段跳 6位) 女子:(100m 準決勝進出、200m出場、5000mW 2位・4位)
	7/27・28	佐々木記念西条ひうち記録会	西条ひうち陸上競技場	4	男子:(100m、200m、やり投出場、三段跳 2位)
	8/10・11	第2回 えひめ記録会	愛媛県総合運動公園陸上競 技場	4	男子:(100m出場、三段跳 2位) 女子:(100m出場、やり投 8位)

文化局(部)

団体名	期 間	大会名・イベント名等	開催場所	参加人数	備 考
VYS	4/21	ボランティア (みなら特別支援学校青年学級との交流)	みなら特別支援学校	3	
	6/16	ボランティア (みなら特別支援学校青年学級行事)	松山市内	4	
	6/16	令和元年度 青少年リーダー育成研修会	大洲市総合福祉センター	1	

文化局(同好会)

団体名	期 間	大会名・イベント名等	開催場所	参加人数	備 考
学生赤十字奉仕団	通年	啓発活動(献血)	愛媛県赤十字血液センター 大街道出張所	—	献血の呼びかけ、献血ルーム内の案内
	4/20・21	中国四国学生献血推進協議会代表委員会	日本赤十字社中国四国ブ ロック血液センター	1	
メディアデジタル 同好会	8/9~11	写真撮影(松山まつり)	松山市内	1	

その他団体

団体名	期 間	大会名・イベント名等	開催場所	参加人数	備 考
学生ボランティアセンター	7/8~13	ボランティアウィーク・フェスタ	聖カタリナ大学北条キャンパス	—	

◆◆ 研究室探訪 ◆◆

聖カタリナ大学人間健康福祉学部人間社会学科
講師 大久保 元正

2017年4月より人間社会学科の一員として勤務しております。主に社会学関連の科目と、キャリア関連の科目を担当しております。専門は現代社会論と産業・労働の社会学です。3年生と4年生が参加する専門演習にも、何らかの形で「仕事」に興味のある学生が多いので、若年者の就業や非正規雇用、最近ではA Iと仕事の関係性に関する書籍などを輪読したり、各自の関心に従って勉強した成果を報告してもらったりしています。

私自身はといえば、現在は外国人労働者の問題、特に外国人技能実習生とその雇用主に興味があり、その調査フィールドとして東予地域の製造業、特に今治の造船業に着手しようとしているところです。そのため、まだ技能実習生自体への聴き取りは実現できていないのですが、いずれはそこまで行かなくてはならないと考えております。また、外国人労働者の問題は「労働」という枠だけに収まるものではなく、「地域での共生」にも関わる問題であるため、その方面の勉強も欠かすわけにはいきません。

その一方で、3年生が履修する「インターンシップ」科目に関連して、学生を研修で受け入れていただいた企業の担当者の方々に、調査というほどではありませんが色々聴き取りをしております。学生の様子や求める人物像、そして「コミュニケーション能力」の中身についてといった内容です。

これら2つのテーマ同士にはまったく関連がなさそうですが、いま言葉を出した「コミュニケーション」という点から見ると、対比的に捉えることもできます。外国人労働者の場合、まずそもそもコミュ

ニケーションをとること自体が課題になります。外国語の壁があるため、労働者側からも日本人側からも、そう簡単に意思疎通を図ることができません。その壁をお互いがどう乗り越えていくのか。一方、学生が仕事を始めて要求されるのは、コミュニケーションの内容や使い分けです。「報・連・相がきちんとできるか」という基本的なものから、「お客様がご夫婦で来店された場合、会話の中でどちらが購入を決定する主導権を握っているかを見抜けるか」という高度なものまで、経験の中で身に付けていかなくてはならないことが多々あります。

しかし、この対比も、近年は妙に距離を縮めてきているかもしれません。外国人労働者の方は、当人たちのみならず、その子供たちの不就学問題も取り沙汰されるほどなので、まだまだ言葉の壁の問題は高いままだと思われませんが、学生たちの中にも「コミュニケーションが苦手」という子たちがますます多く見られるようになってきたからです。それこそA Iが発達して、コミュニケーションの質が根底から変化するようなことがあれば、言葉の壁も苦手意識も、容易に克服できる時代が来るのかも知れませんが、本当にそれで人間が幸せになれるのか、判断が難しいところです。すぐにはそんな時代が実現しない以上、教員としては、身近にいる学生たちにコミュニケーションの経験を少しでも積むよう促すくらいしかできませんが、1人でも多くの学生が、今の時代に必要なコミュニケーション能力を身に付けてほしいものです。

聖カタリナ大学・短期大学部学報
〒799-2496 愛媛県松山市北条660番地
TEL. 089-993-0702(代)
<http://www.catherine.ac.jp>
編集・発行
広報委員会
kouhou@catherine.ac.jp